



吽像

阿像

有形文化財（彫刻）

2 2. 木造随神像 もくぞうずいしんぞう 2 軀一対 く

■指定年月日 昭和 63 年 3 月 18 日（1988）

■像 高 阿像 33.0cm 吽像 25.5cm

■所在地 長橋町 37-42

■所有者 きたしまあらみさき 北嶋荒御前神社

2 体とも頭部や両腕・胴もふくめて一木で造り、
両膝のみ別材で作られている。衣冠束帯の姿で阿
像は右膝を、吽像は左膝を立てた坐像である。大
刀や弓などの持ち物はなくなり、吽像は冠の巾子
を欠き、全体として風化が進んでいる。部分的に
彩色の跡がわずかに残っている。2 体とも底部に、
次の墨書の銘文が残っている。

吉助

神主

（吽像） 荒前

文安六年

（追銘）天文八年六月廿八日

（阿像） 文安六年四月十五日

荒前

（追銘）天文八年

この銘文から、本随神像は文安 6 年（1449）に
製作され奉納されたことが確かであり、天文 8 年
（1539）に修理されたものと考えられる。

県内の銘文のある随神像としては最古のもので
あり、製作年次の確かな造形資料として重要であ
る。